

平成28年度

岡田の里・ゆめの里朝日・サルビア合同研修会

24時間シートの意義と 取り組みについて



社会福祉法人 **梓の郷**

介護老人福祉施設 **サルビア**

ユニットケア委員会

ユニットリーダー 齋藤 隆寛

ユニットリーダー 小林 俊介

24時間シートについて

～ユニットリーダー研修で学んだことから～

ユニットケア委員会

ユニットリーダー 齋藤 隆寛



◆時代背景からユニットケアの背景を知る

●特別養護老人ホームの歴史と当時の時代背景

戦後 屋根のある居場所の確保 「収容」 が目的



1963年老人福祉法制定

戦後の焼け野原と比べ活気に満ちた時代

洗濯機、冷蔵庫、テレビ、電話などの普及

特別養護老人ホームの誕生

多床室、大食堂、大浴場、1ヶ所にまとまったトイレが主体

集団ケア

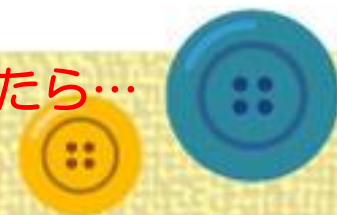


時代の大きな変化

テレビ、自家用車は1家に数台所有それぞれの部屋は独立しており

自分の部屋があるのがあたり前の暮らし

そのような暮らしぶりの高齢者が従来型の老人ホームに入居したら…

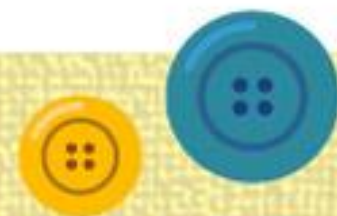


まずは…

多床室 → 個室

◆ケアの視点◆

「入居前の暮らしと入居後の暮らしが
連続したものとなるよう配慮する」



◆ケアの視点と組立て方

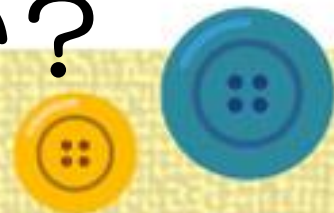
- 施設⇒「住まい」 (入居者の暮らしにケアの視点に移る)

暮らしには誰でも自分の好きなスタイルがあり、そのスタイルが尊重されて暮らしが成り立っている。

暮らしぶりは一人ひとり異なるため入居者一人ひとりに目を向けていく必要性がある。



どこに目を向ければ良いのか？



- 暮らしは1日1日の積み重ね
1日をどう暮らしていくかに視点を向ける
しかし、介護の必要な高齢者は1人で1日を組み立て暮らすことが出来ない
だから、、、

ケアの目標は自立支援（大原則）

- 入居者が1日をどのように暮らし自分で出来る事は何か、どこにサポートが必要なのか、明確にすることが大切。
- 暮らしにサポートの必要な場面は一人ひとり異なるため、全ての入居者を調べる必要がある。

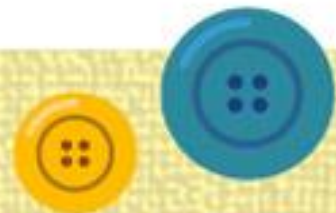


今までの高齢者施設は暮らしに視点がなかった結果…

- 24時間軸での入居者一人ひとりのデータをとっていない
- 共通に取ったデータを共有していないことから結果として個別のケアと標準化したケアが展開出来ていなかった。

このデータを取るツールが

24時間シート



- ここで疑問や戸惑いが出てきませんか？

データを取った結果、全てをサポートすることが難しい。実際少人数ケアとはいえ10人をサポートする上で不可能な場面も生じる
etc….

そのような時は、

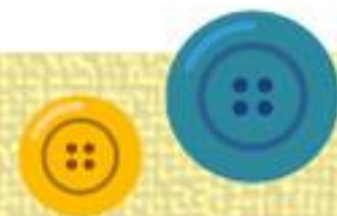
1日の暮らしの中で絶対外せない視点は何か??それは**体が健康であること**身体機能を保持していくこと。人は身体が元気だからこそ様々な活動が出来る。身体を作り健康でいるための行為のうちかかすことの出来ない

「食べて、 出して、 寝起きすること」

この3拍子の生活行為が「**自分のペース**」であることと「**自分の暮らしぶり**」が尊重されることが基本。

決して、職員ペースにしないこと!

その為には、24時間シートの適切なデータ収集と共有

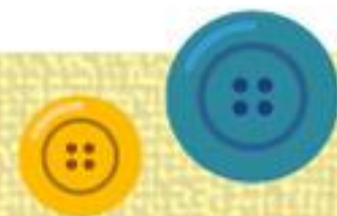


◆こんなことはありませんか？

- 職員によって朝の声かけの時間が異なる
- 家族から「伝えたはずなのに」と苦情が出る。

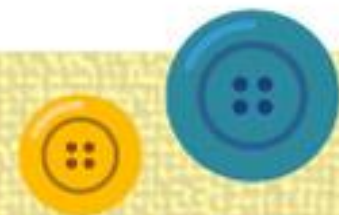
解決するには、、、

適切な情報収集とデータの共有



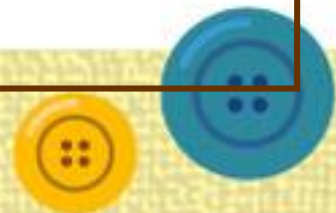
◆なぜ24時間シートを導入したのか？

- ①理念を実践するツール、目指すものが明確になる
- ②チームケア実践のツール、情報の一元化、共有を図る
- ③職員教育のツール、すべきサポートを具体的に言語化し、ケアの標準化を図る
- ④職員のケアの状況が分かる。これから何を指導していけば良いのか課題が分かる
- ⑤運営、経営指標のツール、ケアの「見える化」を図る

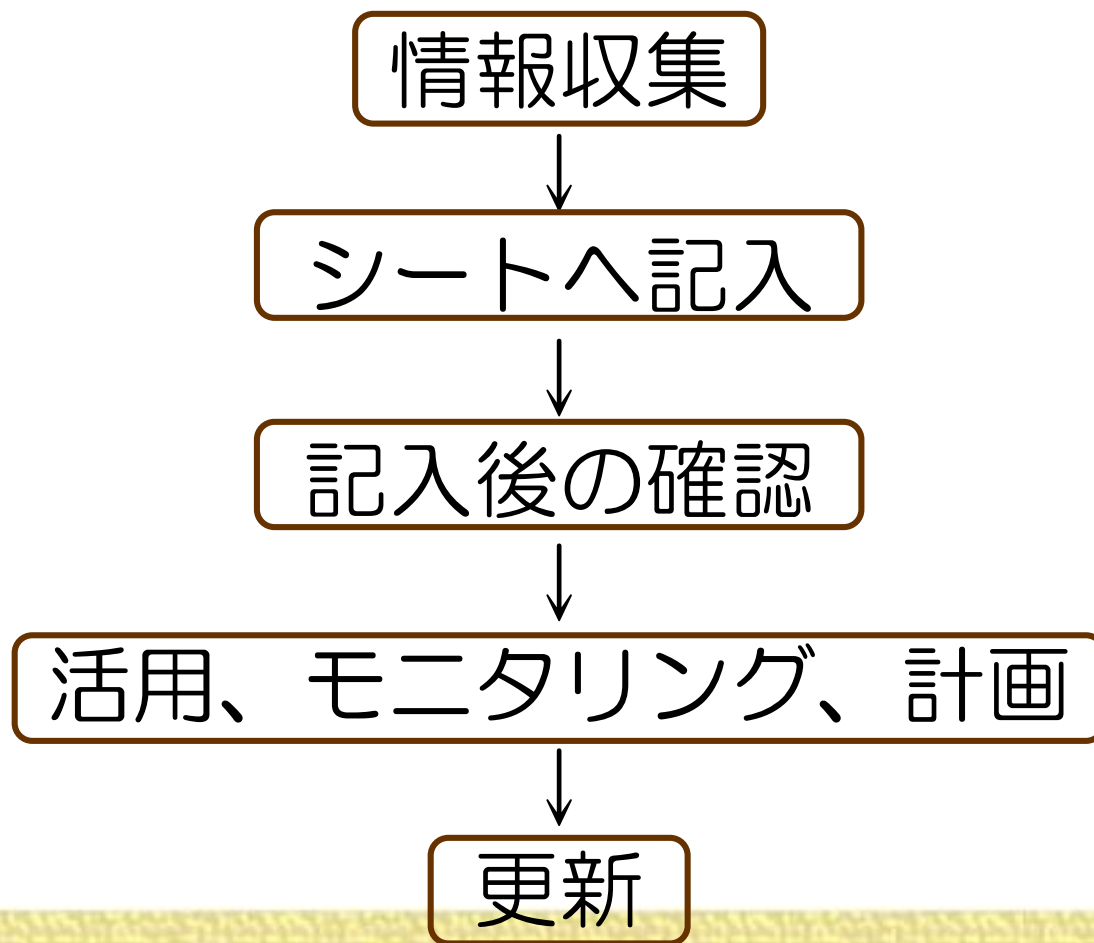


◆24時間シート導入後の心構え

- 最初から完璧なものは出来ない
- どんなことがあっても24Hシートを作成しようという心構えと、活用して良い効果を実感できれば○
- マニュアルではないので、どうしてもこの通りに1日を過ごしてもらわなければいけないのではない。あくまでも目安として活用する
- 一人ひとりの暮らしの継続が実現できているかを常に職員同士確認し合い。より良いものにしていく



◆作成の手順



◆情報収集

【収集する人】

直接介護にあたる職員が中心になって収集
生活相談員が得た情報の共有や、必要に応じて
看護師、栄養士も参加し、アドバイスや知識を
得ながら収集する。

【収集の手段】

- 読み取り… 私の生活史、サマリー、ケース記録
- 聞き取り… 本人、家族、利用していた在宅サー
ビス提供事業者、病院
- 観 察… 日常生活、声、表情



◆聞き取り項目の活用（別紙参照）

- ケアの統一、標準化を図ることが目的。
職員全員が共通の聞き取り項目を活用し、
24時間シートを作成すれば実際に介護を行う際にも同じ視点が活かされることになる。
職員によって視点のばらつきを軽減できる。

※ +ケアプラン内容も盛り込む

担当入居者の聞き取り項目を作成し、既存の24時間シートに足りなかった事を付け加えて下さい。



24時間シー

入居者氏名		担当者氏名	
-------	--	-------	--

時間	生活リズム	意向・好み	自分でできること
06:30	起きる	・自分の起きたい時間に起きたい。	・洋服に着替える ・布団を整える ・カーテンを開ける ・洗を洗う ・髪を梳かす
07:00	トイレに行く	・609号室横のトイレを使いたい。	・トイレに自分で行ける ・尿意・便意がある ・終わったら職員に声をかけられる
	朝食までゆっくりして過ごす	・朝食までゆっくりしていたい。	・椅子に座って朝食まで過ごす
08:10	朝食を食べる	・美味しいものを食べたい。 ・好き嫌いは特にはない。 【栄養ケアプラン】	・自分で食べられる

時間の流れに対して具体的にどのような生活行為を“本人が”しているか

生活行為毎の入居者の意向や好みを書く

兼 日課計画表

期間 平成28年12月01日 ~ 平成29年05月31日

サポートが必要なこと 気づいたこと・注意点

・自分で起きて来られる方の為、リビングに出てきたら挨拶をし体調を確認する。
 ・電気・エアコンが消えているか確認する。

【排泄場所】
 ・609号室横のトイレ
 【使用パンツ・パット】
 ・本人の布パンツ・なし
 【気をつけること】
 ・トイレが終わったら声をかけてくれるので、排便が出ていれば量を確認する。
 ・排尿のみの場合、トイレトペーパーをゴミ箱に捨てる事があるので、便器内に捨てていない事を伝える。

・609号室横のトイレ
 ない時は、他のトイレ

こだわり・リスク・医療面等サポートに必要なことを記載

※お通じがスッキリ出るよう、朝食前にオリゴ糖入りの水分をとってもらおう。

【移動】
 ・自立（椅子使用）

・体重を気にされている為、ご飯は小盛りで出す。
 ・食事を食べた後は、お盆を置くとお知らせしてくれる。

入居者の「生活リズム」「意向・好み」「自分でできること」で得た情報を基にチームでサポートする方法を記載

【食生活】
 ・食事は自分で食べてくれる。

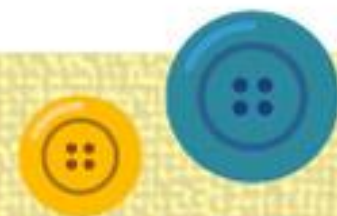
【その他】
 ・食事に興味をもって

【内服方法】
 ・薬が本人の物か確認。
 ・封を開け、職員が口の中に薬を入れる。
 ・番茶でしっかり飲み込めたか確認。

・粉薬と錠剤が一緒になっている為、むせ込みに注意。
 ・錠剤が落ちないように注意する。

◆24時間シートの更新

- 入居者の1日の暮らしぶりが変われば、必然的にサポートの内容が変わるので、そこが更新時期。(変化があった事は「ふせん」や赤字等書き加えておく)
- 大きな変化のない入居者さんは3ヶ月に1度の見直しをする。
- 見直し時も、聞き取り項目を元に行う。



24時間シートを見直そう

～もみじユニットの取り組みから～

2階西棟 もみじユニット
ユニットリーダー 小林 俊介

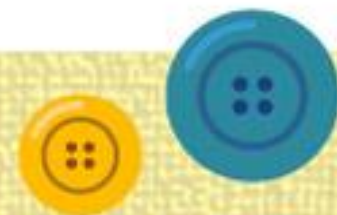


◆取り組み前の現状と課題

- 3ヶ月に1度の見直しと状態や生活の変化時の見直し時に更新はしていた
- 職員は一生懸命24時間シートを作成

だけど . . .

「これ（「24時間シート」）って、
作っている意味あるの!？」



◆ユニット職員に聞き取り

私：「みんな24時間シートをどう思ってる？」

職員：

「活用できなければ意味ないんじゃない？」

「せっかく作っているのに、もったいない…」

「別に24時間の生活をわかっていればいらんないんじゃない？」

「書かなくてもわかっているし…」

「自分の担当者以外は目を通さない」

「自分の担当者以外は愛着が…」

等々マイナスな意見ばかりであった



◆これではいけない！！！！

この職員の意識が少しでも
良い意識へと変化
していくことを願い

見直しをしていくことにした
!(^o^)!



◆まず取り掛かったこと

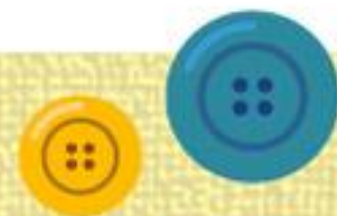
もみじの入居者の顔を思い浮かべると

**「好きなもの、好みのものを食べたい！
逆に嫌いなものは嫌！」**

●職員は把握しているのかな？

→ 皆の24時間シートを見てみると

- 職員個々で情報を持っているけど、24時間シートに書いてないから共有できていない
(課題)



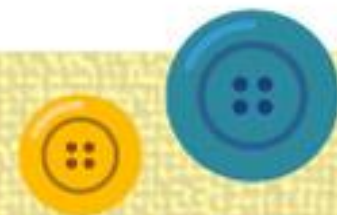
◆目標と取り組み内容の設定

【目標】

「入居者10名分の食事に対する意向や好みについて、ユニット職員全員が情報共有できる」

【取り組み内容】

- ①24時間シート「意向・好み」に最低、“好きな食べ物・飲み物” “嫌いなもの”を記入する
- ②更新が必要な入居者（3ヶ月経過、変化あり）の24時間シートは、職員が見落とさないように別のバインダーに綴じて机に置く
- ③24時間シート内にあるケアプラン内容は、マーカーで目印をつける
- ④10名分の一覧表の更新



◆実施結果と考察①

- ①24時間シート「意向・好み」に最低、“好きな食べ物・飲み物” “嫌いなもの” を記入する



【実施結果】

好み等の情報記入のルール化により、〇〇さんに嫌いなものを出さず嫌な気分にならずに済むようになった。

(実際は自分の意思が伝えられる人が多いのでお茶の時間は何を飲むのか?と聞いていることが多いが)

【考察】

“声なき声” に応えた支援につながった。

(意思が伝えられない入居者にとって必要な情報だと気付かされた)



る	自分の好きな通りに着替えたい 靴下は履きたくない	更
色を眺め、他入一緒にたりす	・人との関わりは好き	
水換え	昔野菜を育てていたお花が好き お花の中ではコスモスが一番好きだった	植物
を食べ	・牛乳が好き ・温かいお茶が好き ・お味噌汁は好き	・箸 ・食 ・嗜
薬を飲		手の お茶
休む	・疲れたら居室で休みたい ・居室にいる方が楽	要望

ズム える	意向・好み	自分
行く ト交	清潔にしていきたい。	・上衣のボ ぐ 排泄介助 の協力動作
べ	・猫舌 ・ゆで卵、目玉焼き等の卵 単品の料理はお腹を壊して しまうので食べない。 ・甘いお菓子は好き。 ・食事はゆっくりと食べたい。	・食事に対 うこと。
む	ゆっくりと過したい	・居室に戻 声をかける。 ・ラジオを ・ストロー お茶を飲む

◆実施結果と考察②

②更新が必要な入居者（3ヶ月経過、変化あり）の24時間シートは、職員が見落としがないように別のバインダーに綴じて机に置く



【実施結果】

- 見落とし予防が目的であったが、職員が24時間シートを目にする機会が増えたことで、ユニット会議の短縮に繋がった
- 赤ペンでの記入であったので、見やすい、担当以外の職員も記入するようになった

【考察】

24時間シートの意義を実感



ト関係

24時間シート 制作計画表

28年度もみじユニット目標

暮らしをサポートする。
24時間シートを作成する。
※ 母乳、入浴費から管理費まで、24時間シートに落としこむ。
（必要なヘルプにも対応、新人職員にも分かりやすいものを作成して
ご活用ください）
※ 母乳も管理費にのりつける。
※ 家に家族の持ち込みに関する事項

研修実地研修施設選定調査指図書事項

は積極的に改善に当たる。
講師、入浴費から管理費まで、24時間シートに落としこむ。
講師も管理費にのりつける。
家に家族の持ち込みに関する事項

チームワーク
にすること！
いながら働きやすい環境をつくっていく！

人原費氏名	職名	担当業務	担当業務	備考
037 01 トイレ	清潔	洗面・給水	自分でできること	【作業内容】 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水
037 02 掃除	掃除	洗面・給水	自分でできること	【作業内容】 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水
037 03 洗濯	洗濯	洗面・給水	自分でできること	【作業内容】 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水
037 04 調理	調理	洗面・給水	自分でできること	【作業内容】 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水
037 05 入浴	入浴	洗面・給水	自分でできること	【作業内容】 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水 洗面・給水

28年度もみじユニット目標

暮らしをサポートする。
24時間シートを作成する。
※ 母乳、入浴費から管理費まで、24時間シートに落としこむ。
（必要なヘルプにも対応、新人職員にも分かりやすいものを作成して
ご活用ください）
※ 母乳も管理費にのりつける。
※ 家に家族の持ち込みに関する事項

研修実地研修施設選定調査指図書事項

は積極的に改善に当たる。
講師、入浴費から管理費まで、24時間シートに落としこむ。
講師も管理費にのりつける。
家に家族の持ち込みに関する事項

チームワーク
にすること！
いながら働きやすい環境をつくっていく！

24時間シートもみじ

サポートが必要なこと	気づいたこと・注意点	
<p>押し、トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他入居者とトイレを使う時間が重なってしまうことがあるので、気にかけて他のトイレに誘導するなど対応する。ゴミ箱に入れてある使用済みパッドを片付ける。本人が使用するパッドを補充する。 <p>使用するパッド 日中→リハビリパンツ+オレンジパッド (L) (装着白or緑)</p> <p>夜間→リハビリパンツ+紺700</p>	<p>本人が使うトイレに使用済みのパッドが新聞にくるまないのでゴミ箱に捨ててあったり、便器内を流してなかったりすると気分を害する為、気持よくトイレを使っていたりよく常に気にかけておく。</p> <p>最近は希に下着やシャツを汚されることもあり対応をお願いされた時はすみやかに行く。使用するパッドを補充しておく。</p>	
上記参照		
自分で出		
<p>こと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の片付け。 ・食事の準備と配膳。 ・【食事形態】主食・副食：常食 肉など固い食材は、本人に確認しながら食べやすい大きさに刻む。【栄養ケアプラン】 ・生のキャベツはゆでたものがくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲むヨーグルトは嫌いなので、朝、温めた牛乳をたす。 ・メロンパンが嫌いな為、出さないようにする。 ・温かいものは温かく出せる様にする。 ・ご飯の準備が出来たら声を掛けに行く。 	
自分で飲	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯が食べ終わる頃のタイミングを見て薬を渡す。【薬の内容は一覧表参照】 <p>薬を飲むのを忘れることがあるので、食事が終わる頃に渡す。</p>	
上記参照		
自分で	<ul style="list-style-type: none"> ・居室の整理 ・必要なものの出し入れ ・飾って欲しい物等あれば貼る ・訪室した際には、話を聞く。内容に応じて対応する。【ケアプラン内容】 	<p>足元に新聞紙など、ちらかっている事があるので、気づいた時に片づける。</p> <p>折り紙、読書は目や指の疲れから以前ほど出来なくなっている。</p>
参照	<ul style="list-style-type: none"> ・「トイレに行く」参照 	

水口詠計画表

西岡憲吾	期間	平成28年09月01日 ~ 平成29年02月28日
サポートが必要なこと	気づいたこと・注意点	
<p>非排泄介助全般。</p> <p>日中はオムツS+オレンジパッド 夜間はオムツS+紺パッド使用している。</p> <p>側臥位になる際に協力動作（柵を持つ）が得られるように声掛けを行う。</p> <p>靴下を履き、介助で車椅子に移乗する。入れ歯を入れる。 タオルを渡す。 ブラシで髪をとかす。顔を拭く。</p> <p>朝ドラを居室かフロアで見られるようはからう。</p>	<p>排便が近づくと、お尻の痛みを頻りに訴える傾向がある。便は水様便で2度3度と続く。</p>	
<p>【用意するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エプロン、生肌スプーン (エプロン、生肌スプーンにかける) <p>【食事形態】</p> <p>主食：ソフト食 副食：ソフト食 汁、常食 (軽いトロミを点ける。)</p> <p>※パンと麺もソフト食。1025粥、ソフト麺</p> <p>※おやつはミキサー</p> <p>飲み物：ポカリ (朝は牛乳)。軽いトロミをつける。オリゴ糖を入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他入居者と職員と会話をしながら食事をする 	<p>腰の痛みもあり車椅子に移乗した時の座位の安定をはかる。長時間座っておれず1時間位が目安となる。座るとやや左に傾く。</p> <p>車椅子のクッションの空気が抜けていないか注意をはらう。</p> <p>食器、スプーンを工夫する。コップは軽くて取っ手の付いたものが良い。</p> <p>・食事中姿勢が傾いてしまうので注意が必要。</p> <p>・食べ辛さとムセることが多くなってきている。</p> <p>・ソフト食だが食べれそうな物は常食の大皿から食べていただく【栄養ケアプラン】【ケアプラン内容】</p> <p>・ごはんの友 (海苔、ねぎ味噌など) をかけるとお粥の進みがいい。</p>	
<p>コの中に薬を入れる。飲み込みに確認を行う。</p> <p>非便カウント (一4) の朝ピコスル12滴入る。</p> <p>【薬の内容は一覧表参照】</p> <p>(一3) のタレピコスル12入</p>	<p>薬が飲み込めてなくて口腔ケアの時に口から出てくることもあるので注意が必要。</p> <p>入浴日の下剤は入浴後に飲む。</p>	
<p>使用物品</p> <p>歯ブラシ、毛アブラシ、コップ、バイオティ</p> <p>入れ歯を磨く</p> <p>うがいの補助 (ガーグルベースを持つ)</p> <p>【嚥下練習】</p> <p>磨き後に「パンダのたからもの」と発声練習の声掛けをする。【ケアプラン内容】</p>	<p>口の中が綺麗になっても何かが残っている感じやネバネバ感があると云われる。</p> <p>入れ歯は外して休みたい。</p> <p>入れ歯に薬がくっついていて口ごとがよくあるので注意する。</p>	

◆実施結果と考察③

③24時間シート内にあるケアプラン内容は、
マーカーで目印をつける



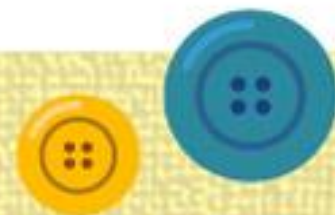
【実施結果】

ケアプランを見るようになった。

ケアプランを知るきっかけになった。

【考察】

ケアプランに沿った支援に繋がりはじめた



食べる 時は離 れて飲 み終 えて飲 み終 えて飲 み終	<p>【食事場所】リビングのテレビ横</p> <p>【食事形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食：粥（半量） ・副食：常食（普通量）お粥の上におかずをのせる。 ・汁：常食（普通量） ・水分：香茶ストロー付きの本人用コップ <p>【使用食器】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動食器 スプーン エプロン 	<p>・副食は本人に聞いて小さく刻む。</p> <p>・姿勢が良ければ自分で殆ど食えることができる。出来る限り自分で食べてもらえるように声を掛け、無理そうなら手伝う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・菓を用意すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前、内服時間をしっかりと確認して、内服してもらう。
コールで 呼ばら れたこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のお菓子などを持って行く。 ・お菓子、飲み物を取りやすい場所に置く。（食べ過ぎに注意） ・体の位置を整える。 ・時計、ティッシュ等所定の位置に本人に聞いて置く。 ・退室時には居室の扉を開けて置くか本人に確認する。 ・コールを押しやすいように手に届くようにしてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡があり、エアーマットを使用している。（圧を気にかける） ・足の位置を整える。 ・話しをしたい方であるため、積極的に会話をしこたわり等探る。【ケアプラン内容】
トイレに 行くこと	<p>【排泄場所】居室</p> <p>【使用パット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日夜オムツ ・日中一紐パット 夜間一紐パット <p>【気をつけること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2日で下剤15滴内服 	<ul style="list-style-type: none"> ・臀部に褥瘡がある。この時間に一緒にNS処置をしてもらう ・皮膚状態の観察をする。【ケアプラン内容】
	<ul style="list-style-type: none"> ・何を飲みたいか確認をする。 ・食卓までの移動介助 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が傾いている時には直す。
入浴すること	<p>【入浴場所】東の個別浴</p> <p>【浴槽への入り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴槽に入る時は2人介助で入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴中は身体が浮いてきてしまいやすいので注意する。 ・お尻が痛くなりやすいので注意する。 ・爪が伸びていたら切る ・ゆっくり話しを聞ける機会のため話しやすい雰囲気をつくる【ケアプラン内容】

計画表

期間 平成27年09月08日 - 平成27年11月30日

	サポートが必要なこと	気づいたこと・注意点
【食事場所】 リビング 【使用パッド】 リハバン+紐パッド（この時間のみ） 【気をつけること】 パッドが汚れていたら交換 排便時は清拭タオルで清拭		<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢に注意する ・食事、水分あまり摂れない為、コスル内服する日が増えてい ・コスルの量は医師より指示あり。【ケアプラン内容】 ・パットは濡らす。
【ケアプラン内容】 右耳に補聴器をつける 居室のカーテンを開ける 掛け布団の乱れを直す。 【移・移動】 車椅子に前から抱きかかえ移る。		
【使用パッド】 リハバン+レンジパッド（汚れていたら交換） ・皮膚状態の観察を行う。 【ケアプラン内容】 ・顔拭き用のガーゼを準備する。 ・髪を梳かす		<ul style="list-style-type: none"> ・発赤や皮むけ等見られたら看護師と処置について確認。
【移・移動】 車椅子 【食事場所】 リビング洗面台の前Fさんの横 【食事形態】 主食：粥（半量） 副食：ソフト食（普通量） パン：パン粥 汁：ミキサー（普通量） 水分：香茶、緑茶 本人湯のみにトロミ適量 ※汁は薄めて出す。（本人希望） 【禁止食、嫌いなもの】 卵、ヨーグルト以外の乳製品、納豆、酢の物 【使用食器】 ユニットのスプーン エプロン 【栄養ケア】 好きな物を食べて頂く	<ul style="list-style-type: none"> ・お粥にでんぷら、ふりかけを掛けると食が進むことがある ・水分は殆ど摂れていない ・溜め込みあり ・ぶどうは比較的食べられるが、食べれそうな時に出していく。家族にも依頼し食べれそうな物を用意しておく。 ・その時々体調を見ながら離床するか決める。【ケアプラン内容】 ・食事がすすむと、時々お粥に混ぜて飲む。 ・お粥の量は医師より指示あり。 	
【使用物品】 スポンジブラシ 【手順】 入れ歯を外してもらいスポンジブラシ使用 【ケアプラン内容】		<ul style="list-style-type: none"> ・履けてサイズが合わないのか入れ歯を壊がり使用しない時が増えてい ・入れ歯使用時は、誤飲予防の為、外す

◆実施結果と考察④

④10名分の一覧表の更新



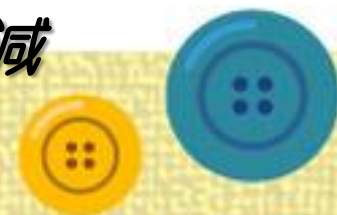
【今後の展望】

- 29年度の新入職員の教育に役立てたい
(入居者個々にあった支援ができているかの確認ツールとして)

【作成の工夫】

ユニットサブリーダーと二人で作成し始めたことによって、リーダー以外にも役割や責任感が芽生えてくることに期待

→ ゆくゆくはユニットリーダーの負担の軽減にもなれば・・・



◆まとめ

- 居室担当以外のユニットの職員も、少しは24時間の暮らしを理解していけるところに向かっている
- 「自分一人で作っているのではないんだ」という意識に繋がった
- 作成や更新を日々業務の中で行うことが困難＋負担。
- 事故対策委員会のように24時間シート委員会立ち上げても良いのでは？（リーダー以外の人にも24時間シート知る、勉強するきっかけとなるように）
- 24時間シートを見るクセをつける為にどうしたらいいのか課題。
- 皆が一生懸命作っている24時間シートが少しでも何かに活用できてくれば、入居者も職員も良かったと実感。



◆最後に、職員にもう1回聞いてみた

- 以前は24時間シートを見ることがなかったけれど、見ることが多くなった。
- 新たに入居者のことについて知ることが増えた。
- 心掛けていたが、やっぱり24時間シート通りにはできていない。
- やっぱり、大変！！！！
- 24時間シートに落とし込みがまだまだ不十分。



ご清聴

ありがとうございました。

